

# 見沼自然散策

2023.6.10



見沼たんぼ地域ガイドクラブ



アカメガシワ



シナノキ

初夏に花をつける木々。  
シナノキは花の根元にへら状の葉をつけ、実を風に乗せる。  
アカメガシワは雌雄異株。  
アジサイが小さな花を咲かせている  
↓スタジイの実は2年越しで小さな実は昨年の花。  
シラカシはその年に秋に実のる。



アジサイ



シジュウカラ若鳥



カワセミ



シラカシの小さなどんぐり



スタジイ



オオバコ



アメリカフウロ

←オオバコの花に小さなアブがやってきた。オオバコは下から順番に開花、メシベが出た後、オシベを出す  
←アメリカフウロの実。中央の芯の根元の実は熟すと上方へ丸まりながら弾け、種を飛ばす



ノアザミ

→初夏に花をつけるノアザミ



アオモンイトトンボ



アジアイトトンボ

←よく似たイトトンボ  
尾の先が2節青いアオモンイトトンボ。1節だけ青いのはアジアイトトンボ。

→草の葉を折りたたんでいるのはヤマトコマチグモ  
住まいにしている場合と卵塊を守っている場合とある



ヤマトコマチグモ巣



カブトエビ



ホウネンエビ

←たんぼに水が入ると生き物が動き出す。ドジョウ、オタマジャクシ、ホウネンエビ、カブトエビなど

→網を作らず、葉の上や花の近くで待ち伏せするハナグモ



ハナグモ